



## 武庫川女子大学看護学部の教員ら 新型コロナウイルス感染症でひっ迫する保健所を シフトを組みバックアップ

武庫川女子大学では、新型コロナウイルス感染症が第4波のピークを迎えた今年5月、業務がひっ迫する西宮市保健所から依頼を受け、看護学部の教員らが自宅療養者の健康調査など業務支援に乗り出しました。5月は3交代シフトを敷いて数人ずつ保健所に出向き、2週間で延べ49人の教員が計194時間の業務支援を行いました。

7月末から感染再拡大が始まり、再び教員らが交代で支援を行っています。

業務支援は、本学が西宮市と結んでいる包括連携協定に基づき、新型コロナウイルス感染症に関する応援協力協定を締結したうえで実施しています。

応援協力内容は、

- 1) 新型コロナウイルス感染症に関する発生届のあった感染者等への積極的疫学調査
- 2) 自宅療養中の感染者等の健康観察
- 3) 入院・宿泊療養等の調整中の感染者等の体調確認
- 4) 感染者が発生した施設等の状況確認

ただし、新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者と対面して接する業務は対象外と定めており、西宮市保健所内での電話対応が中心です。

西宮市ではこれまでに4度、感染拡大の波があり、現在は第5波が到来しています。西宮市保健所では感染者増で入院ベッドの確保が難しくなる中、在宅療養者への支援を

行っています。看護学部の教員らは、こうした自宅療養者に電話で健康状態を聞き取りし、パソコンに情報を入力したり、医師の往診、訪問看護等の必要性などを保健所のスタッフに伝えたりしています。また、教員4人が陽性者3000件分のデータ分析に協力し、在宅療養者を支える体制の整備が、適切な支援と治療につながることを明らかにしています。

この件についてのお問い合わせは

武庫川女子大学看護学部（TEL 0798-39-9004）までお願いします。

夏休みでつながりにくい場合はメール ([takarada@mukogawa-u.ac.jp](mailto:takarada@mukogawa-u.ac.jp)) にご連絡ください。



西宮市保健所で電話対応する教員ら

